

中村支所管内より



フレッシュ後川直販所組合

安くて新鮮!

たけいし きょうこ
武石 慶子さん(73歳)

四万十市岩田の中村北部事業所敷地内にある「フレッシュ後川直販所」。発足して28年です。当時と比べて出荷者は減り高齢化も進んでいるようですが、きれいなトマトやキュウリ、ダイコンやホウレンソウなど並んでいました。開店まで入り口で待っているお客さんもいます。野菜の他、手芸品やお米なども販売。今の時期は1日の来店者は40人ほど。武石さんは「暖かくなったら商品もお客さんももっと増えます。出荷者は年配の方が多くですが頑張っていますよ!」と熱心に話してくれました。

営業日 木・金・土・日
営業時間 7:30~12:00

ツワブキを出荷しています

わたなべ しか ぞう
渡辺 鹿三さん(75歳)
わたなべ ひで こ
渡辺 秀子さん(73歳)

佐賀支所管内で、夫婦でツワブキを栽培しています。2月下旬から収穫を始め、4月下旬まで続きます。施肥は年に1回、無農薬で除草作業はありますが栽培管理はしやすいです。11月の花の咲くころのハサミで花を切るのは地道な作業です。

ツワブキは塩をふってもみ、皮をはいでから、水に漬けます(少し塩を入れる)さっと固めに湯がくのがいいそうです。日なたで行うと黒くなるので、下処理は日陰で行います。「きんぴらや煮物、豚肉と炒めてもおいしいですよ」と教えてくれました。

佐賀支所管内より



幡豆地区

から こんにちは 今月の〇〇 気になる人

中村支所管内より



毎日にぎやかです!

(左) マメくん(3歳)
(右) むぎちゃん(1歳)

家の中の高いところが好きなマメとむぎ。先に家族になったマメと昨年新たにむぎを迎えて、パパとママ2人と2匹の家族で暮らしています。むぎはやんちゃで元気はつらつ。先輩のマメともすぐに仲良くなりました。猫じゃらしで遊ぶのが大好きでママといつも遊びます。

マメは色々な表情をして、撮影するママやパパをいつも楽しませてくれます。いたずらっこで2階にある日本のお城プラモデルに興味津々。パパは壊されないように守ります。そんな2匹もママが料理をしていると、炊事場の窓から外を眺めて警備してくれるしっかり者です。いつも心を癒してくれてありがとう。みんな大好きです。

菜の花を見に来ました

ところだに たかし
所谷 隆さん(66歳)
ところだに まみえ
所谷 君恵さん(64歳)

四万十市有岡在住の所谷さんご夫婦は、高知新聞が掲載した菜の花まつりの記事を見て訪れたそうです。普段は散歩をしたり時々でかけたり、ゆっくり過ごす時間が多いそう。

「2人であちこち行くことはあまりないですが、来てよかったです。菜の花きれいですね」と散策を楽しんでいました。

中村支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 中村支所 太巻き寿司を食べて豆まき 一年の災いを払う節分行事



たくさんの太巻き寿司が並ぶ店内。

JAグリーン四万十店は2月3日、節分の日の太巻き寿司や豆を大売り出しました。普段は弁当や総菜の製造をしている生産者も、この日はたくさん太巻き寿司を出荷。来店者は設けられたコーナーに次々と足を運んでいました。今年の恵方は北北西、福を巻き込んだ太巻き寿司は、福を司る神様のいる恵方を向いて、話をせず、切らずに一本食べると福が逃げず縁起が良いという言い伝えがあります。

3 三崎支所 ポンカン出荷 速やか・正確に検品



手早く作業をする選果員の皆さん。

三崎支所選果場では2月7日、ポンカンの出荷作業を行いました。選果員は慣れた様子で手早く検品し等級別に箱詰めを行いました。生産者は早川農園の早川清さん。約1.5haにポンカンのほかに文旦、小夏や麗江を栽培しています。この日は約1.3t出荷しました。早川さんは「小雨だが、寒くて少雨だったので味はよい」と話しました。



6 中村支所 令和4年度産水稲苗渡しスタート 中村支所育苗センター



軽トラックに箱苗を積み持ち帰る生産者の皆さん。

中村支所育苗センターでは3月1日、水稲苗の配布が始まりました。朝早くから次々と生産者が訪れ、軽トラックに注文した枚数分をフォークリフトなどで積みました。初日は生産者10人、約1000枚を出荷しました。同センターが育苗した苗は播種から7日目に出荷します。持ち帰った生産者は約25日程度育苗し、その後田んぼに移植します。3月中旬には出荷のピークを迎え5月中旬まで続きます。

4 中村支所 四万十市観光開き 菜の花まつり



菜の花の中を散策したり写真撮影を楽しむ来場者。

四万十市観光振興協議会は同市入田ヤナギ林にて2月26日から3月13日の期間中の土日(6日間)、菜の花まつりを開催しました。27日のこの日は、青空の下黄色いじゅうたんが一面広がり、一帯が菜の花の香りに包まれていました。地域物産展や防災植物の展示、「しまんと食まつり」として地元店が手作りの寿司や総菜、焼き菓子やコーヒーなどの販売をしました。フォトスポットも用意しており、家族で菜の花と一緒に撮影したり散策道を歩いたりにとぎわいました。



花の配置や方向など決め丁寧に刺します。

1 中村支所 心を込めて丁寧に 花いけバトル体験授業

高知県園芸品販売拡大協議会は2月16日、四万十市の幡多農業高等学校園芸システム科2年生19人を対象に花いけバトル体験授業を開きました。県産の花を身近に感じてもらうと同協議会が県内高等学校に呼びかけ取り組んでいます。グロリオサやトルコギキョウの他、黒潮町の生産者が提供したカスミノウやテッポウユリ、ダリアなど約50種類の県産花材が用意されました。講師の金子生花店は「お花を大事に扱い、とにかく楽しむ気持ち」とアドバイスをしました。

花いけバトルは、用意された花材と花器に即興で花をいけ、5分間で作品を完成させる。完成度の他、花の扱い、所作も審査の対象となります。体験した生徒は「学校でも切り花は扱わないので難しく思ったが、やってみると花を選んで位置を考えるのが楽しかった」と笑顔で話しました。



せとかを箱詰めする選果員の皆さん。

2 大方支所 せとか出番 濃厚でジューシーな味わい

大方支所野菜選果場では黒潮町の特産かんきつ「せとか」の出荷が2月5日から始まりました。生産者が持ち込んだものを検品しながら自動選果機で等級別に選別し、選果員が一つ一つ手作業で等級に応じた玉数を箱詰めします。同管内の生産者は2戸で昨年度は約4.5tを出荷。出荷先は主に関西地方や四国内です。2月7日のこの日は135ケース分を出荷しました。また、同支所管内の黒潮町ふるさと納税の返礼品としても人気で全国発送し



ています。2月下旬まで出荷は続きました。

初心者(家庭菜園)向け エダマメ



栽培のポイント

- 土質の適応性は幅広いが、早い栽培には砂質の地温が上がりやすい所がよく、夏取りはやや重粘で水分の多い所で良品を産する。
- 夏場に乾燥が続くと空ざやになりやすい。
- 生育開花は20~30℃が適温、昼夜の温度差があるほど良品、多収となる。

【作付け計画】 ●:播種 -:生育 ■:収穫

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
早取り栽培		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
普通栽培			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

① 土作り

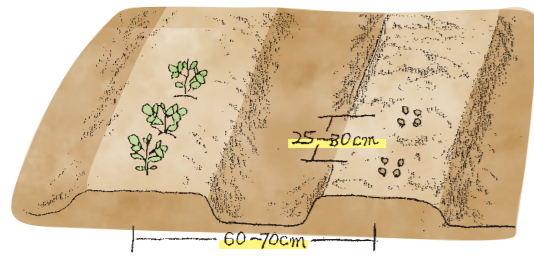
- 日当たり、排水のよい畑を選んで肥料を播き、早めに耕しておく。
- 元肥は、**苦土石灰120~200g、特777SP140g/m**を、植付け前1週間までに施し土とよく混和する。

② ポイント

- エダマメは、保水力のある土壌で良品が取れるので、乾きやすくやせた畑には元肥+完熟堆肥を入れ土作りを行うと良い。

③ 種まき

- 1ヶ所3~4粒播きとし、発芽後2本残して他は間引く。
- 畝幅は60~70cmとし、株間は25~30cmにする。

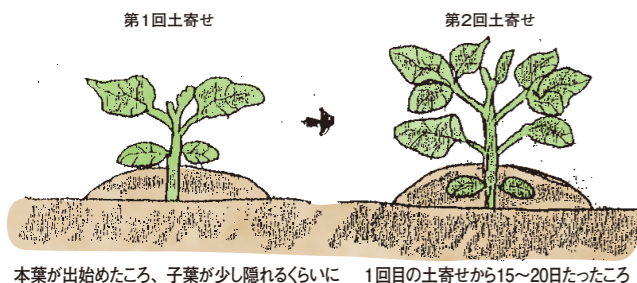


④ 土寄せ追肥

- 1回目の土寄せは、本葉が出始めのころ子葉が少し隠れるくらいに寄せる。
- 2回目の土寄せは、1回目の土寄せより15~20日たった頃に行う。
- 追肥は、肥料が多すぎて過繁茂にならないよう量を加減する。

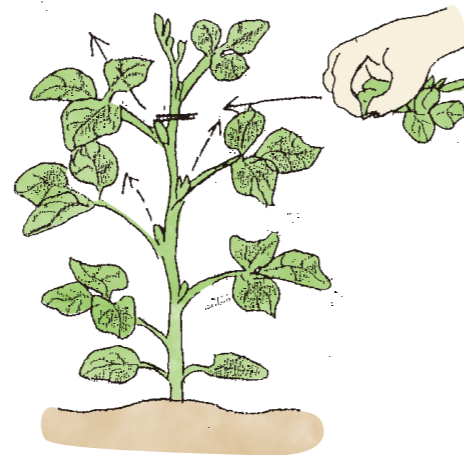
⑤ ポイント

- 土寄せは幼果期の発根を良くし、倒伏防止のため是非とも行う。
- 最後の土寄せは、開花するまでに終了すること。



⑥ 摘芯

- 畑が肥沃で茎葉の伸びが旺盛になりやすいところでは摘芯する。
- 本葉5~6枚のころを摘芯してわき芽の伸びを促すようにする。

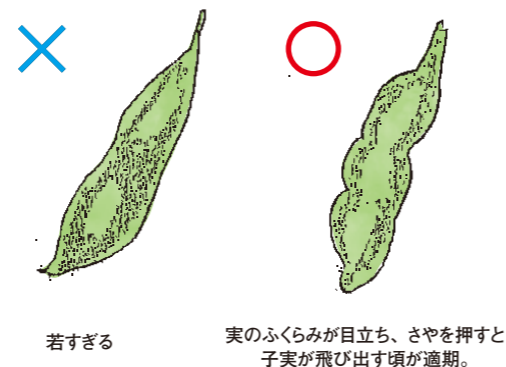


⑦ 収穫

- 実のふくらみが目立ち、さやを押すと子実が飛び出す頃が適期です。

⑧ ポイント

- 収穫の適期幅は極めて狭いので、全体をよく判断して収穫する。
- さやが黄変しはじめると子実が硬くなり著しく風味を損ねてしまう。



■ 幡多農業振興センター 市川智啓 (0880-34-7070)

ハチハチ乳剤・フロアブルの 安全使用について

ハチハチ乳剤・フロアブルは、魚に対する毒性が極めて強い農薬です。農薬メーカーの説明によると、「学校にある25mのプールに原液を3滴入れるだけで、プール内の魚が死ぬ」そうです。高知県内でも過去にハチハチの成分(トルフェンピラド)による魚のへい死(突然死のこと)事故が発生しています。魚のへい死事故は、農薬事故の中でも重要度が高く、今後このような事故が起こらないよう、取り扱いについて周知を図っているところです。

「そんな危険な農薬を使っても大丈夫なのですか?」との意見もありますが、正しく使用すれば問題ありません。ハチハチ乳剤・フロアブルは、魚類や甲殻類、蚕、蜂や天敵昆虫への影響が強く、下記の作物へは薬害を生じる恐れがあるので、十分注意(周辺に飛び散らない配慮)が必要です。人体への影響は、適正に使用されれば、国の基準(試験等を行った結果)で安全であると判断されています(食品安全委員会農薬専門調査会評価)。

■ ハチハチ乳剤・フロアブル使用時の注意点

- ・ **絶対に水路(及び河川)に薬液を流入させない!**(事故の大半はこれが原因)
- ・ 散布中の液漏れ(特にホースや噴霧機の継ぎ手部分からの漏れ)が無いように気をつける。
- ・ 複数圃場がある場合、薬液タンクや噴霧機等に農薬が入っていない状態で運搬する。
- ・ 散布後の残液や、調整用スプーン、動噴、噴霧機、タンク、薬液ボトル等の洗浄液は、圃場内又は特定の薬液処理場所に捨てる。(農薬は土で分解させる)
- ・ 薬液ボトルの保管は、キャップをしっかりと閉め鍵のかかるロッカーや箱で保管する。

※購入の際には判取り帳で住所・氏名・連絡先を記入のうえ、押印が必要です。

■ 薬害を生じる恐れのある作物

- ・ レタス、非結球レタス、チンゲンサイ、コマツナなどの軟弱野菜
- ・ バラ、シソ科植物(シソ、サルビア等)
- ・ ハクサイ、セルリー、キュウリ、ダイコン、カブ、ニガウリの幼苗
- ・ 茶で使用する場合、コテツフロアブルとの混用は避け、10日以上は開けて散布する

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

高知県から海外へ輸出の苺おおきみ、生産者の頑張っている姿が目に見えて来るようでした。ガンバレ幡多！

(中村支所管内・70歳)

特集「幡多から世界へ」が良かったです。大切に育てていることがよくわかりました。コロナが日でも早く収束することを願っています。

(十和支所管内・78歳)

おおきみの誕生までの経過(生産者の試行錯誤の大変さやH22年に試験栽培の開始、現在9名の生産者で行っていることなど)が少し分かり、本当に生産者が目標50人になり幡多から世界にますます広がってほしいと思いました。苺が大好きですが1粒600円以上とはなかなか手が出ません。プライム(うち)の放送をみますます食べたい！と思いついて取りました。当たると両親と友達と楽しみたいと思います!!化粧箱もすぐです!!これからも、おおきみ、生産頑張ってください!!

(三崎支所管内・57歳)

▼2月号は特集で、苺「おおきみ」を取り上げました。お便りでも「食べてみたい」や、生産者を応援する声が多いなどたくさん反響がありました。栽培に興味を持ち県内で生産者が増えることを期待しています。

♪知っておきたい葬儀に関するQ&A♪

そろそろ終活の事を考えなければと思いつながら先のばしにしている状態です。色々参考になりました。

(中村支所管内・73歳)

いざという時に慌てない為に、家族で話し合いを持つ事は大切かなと思いました。

(中村支所管内・65歳)

避けて通れない身近な問題、勉強になりました。

(中村支所管内・70歳)

▼2月号掲載(P.19)のルミエール中村(はた営業所)では、毎回テーマを決め、定期的に終活セミナーを開催しています。私も以前取材した際セミナーを受け大変勉強になり、終活の必要性を感じました。皆さんお気軽にお問合せ下さい。

幡多地区からこんにちはは今月の気になる人。それぞれの支所から色々と皆さん頑張つて趣味や活動に励んでいる人たちに力をもらいました。私達も前を向いて進みたいです。これからも楽しみに待っています。

(宿毛支所管内・51歳)

▼JAでは日々、たくさんの活動や取り組みをしています。この取り組みをできる限り取材し広報紙や農業新聞等で広く皆さんに知ってもらいたいと考えています。広報紙を楽しみに愛読いただき、ありがとうございます。

トマト料理がおいしそうで、トマトが収穫できた際には、今度このレシピでトマト巻きに挑戦!!

(三崎支所管内・68歳)

トマト巻きおいしそう!!是非家で作ってみたいです。

(大方支所管内・41歳)

▼トマト巻きは私も試したい一品です。家族と一緒に作るのも楽しそうですね。また、トマトのシーズン中に日高村に行けたらいいなと考えています。



第10期JA高知県幡多地区女性大学「はた小町」募集のお知らせ

●すてっぷあっぷコース【定員15名】

知りたい、やってみたい!を実現できる好奇心養成講座♪

第1回 ヨガ 6月15日(水)
(講師 happy yoga)

第2回 和菓子作り 7月5日(火)
(講師 和菓子処 大石)

第3回 陶芸 10月4日(火) or 5日(水)
(講師 埋木舎 集寮)

第4回 ステンドグラス 12月7日(水)
(講師 吉川理恵氏)

第5回 草細工 令和5年1月18日(水)
(講師 Charm 松田千穂氏)

●あぐりコース【定員10名】

好きな野菜を育てて収穫!
全5回 市民農園(四万十市敷地)で野菜作りに挑戦!
JA営農指導員が指導します!

入校料

「すてっぷあっぷコース」

6,000円(出資組合員または女性部員4,000円)

「あぐりコース」

4,000円(出資組合員または女性部員3,000円)

※「すてっぷあっぷコース」は別途材料費(1,000~2,000円)が必要な場合があります。

対象者

JA高知県幡多地区管内の女性
詳しくは下記までお問合せまたは応募チラシをご覧ください♪

応募期間

4月4日(月)~4月20日(水) 定員になり次第終了します。

お申し込み・お問合せ先

高知県農業協同組合 幡多地区本部 企画組合員課
TEL 0880-34-5555

※コロナウイルス感染状況等により、内容や時間が変更になる場合があります。